BEST AVAILABLE COPY

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

62-271995

(43)Date of publication of application: 26.11.1987

(51)Int.CI.

F04D 29/30

(21)Application number : 61-113973

(71)Applicant: MATSUSHITA SEIKO CO LTD

(22)Date of filing:

19.05.1986

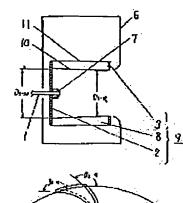
(72)Inventor: OGINO KAZUO

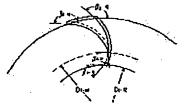
(54) MULTI BLADE TYPE IMPELLER

(57)Abstract:

PURPOSE: To enhance blower fan efficiency, by forming an impeller, which comprises plural blades, decreasing an inside diameter of the impeller and its outlet angle smaller successively toward a suction side of the impeller.

CONSTITUTION: A blade 8 is mounted to a main plate 2 and a side plate 3. The blade 8, until an outlet angle 82 becomes a side plate blade outlet angle B2-R from a main plate blade outlet angle \$2-M, gradually forms smaller from a main plate side to a side plate side. An inside diameter gradually decreases smaller from a main plate side inside diameter D1-M to a side plate side inside diameter D1-R. Consequently, all the sections form a shape in accordance with a necessary work amount, and the efficiency of the whole impeller increases by enhancing partial efficiency of each section of the blade.





LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

@Int_Cl.4 F 04 D 29/30

識別記号 101 庁内整理番号 7532-3H

匈公開 昭和62年(1987)11月26日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

🖾発明の名称

多翼型羽根車

②特 願 昭61-113973

❷出 願 昭61(1986)5月19日

⑫発 明 者

荻野 和郎

大阪市城東区今福西6丁目2番61号 松下精工株式会社内

⑪出 願 人 松下精工株式会社

大阪市城東区今福西6丁目2番61号

邳代 理 人 并理士中尾 敏男 外

外1名

明 細 1

1、発明の名称

多翼型羽根車

2、特許請求の範囲

複数のプレードからなる羽根車の内径および出口角度を、羽根車の吸込側に向うにしたがって小さくした多数羽根車。

3、発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、家電用または設備用の換気送風機器 として用いる多翼型羽根車に関するものである。 従来の技術

従来、この種の羽根車はターポ型やラジアル型 の羽根車と比し小型となり騒音も低いので、よく 用いられるが、効率が低いので効率上昇手段が要 望されていた。

とのような従来の多異型羽根車は、第3図に示すようにシャフト1に連結された主板2と環状の 側板3とが同一幅のブレード4を多数はさむよう に取付けられていた。そして、シャフト1に駆動 カを与えてプレード 4 を回転させ、吸込側空気 5 をプレード入口部 1 O へ吸い込みプレード 4 で昇圧し、プレード出口部 1 1 からスクロール 6 を通って出口へ吐出されるものであった。

発明が解決しようとする問題点

しかしながら、従来の多異型羽根車では、第4 図に示すように吸込口12からプレード4への気流の曲がりが吸込口12に近いほど急であるため、これが抵抗となりプレード4による気流の風速は側板3側ほど小さくなる。しかし、プレードの各断面で流速が異なるにもかかわらず同じ断面形状となっているので、側板3側ほど昇圧が大きく、プレード付近で異常な流れが生じやすく効率が悪くなっていた。

本発明は、上記従来の問題点に留意し、効率の よい多異型羽根車を提供することを目的とするも のである。

問題点を解決するための手段

この問題点を解決するために本発明の多異型羽 根車は、複数のプレードからなる羽根車の内径を、

特開昭62-271995 (2)

角も主板側プレード入口角 B_{1-M}から側板側プレ

- ド入口角 β_{1-R} へ、主板側から側板側へしだい

上記構成化おいて、シャフト1から伝えられた。

駆動力により多翼型羽根車9が回転すると、吸込

口の空気をが吸込まれプレード入口部にくるが、

この時主板側の流速が大きく側板側の流速は小さ

い。したがって流入口角は主板倒で大きく側板側

羽根車の吸込側に向うにしたがって小さくした排 成である。

作。用

この構成により、吸込口より吸引された空気は、 羽根車の内径および出口角度が吸込側に向うにし たがって小さくしてあるため、羽根車から吐出さ れるときには均等に昇圧され、ブレードでの異常 流れもなく効率が向上する。

実 施 例

以下、本発明の一実施例を第1図〜第2図にもとづき設明するが、従来の構成と同一箇所には同一番号を付し詳細な説明は省略する。図において、2は主板でシャフト1に止めネジェで取り付けられ、ブレード8は上記主板2と側板3に溶着またはカシメ構造で取りつけられている。上記ブレード8は、第2図に示すように、出口角 β 2 が主板側プレード出口角 β 2—Rになるまで主板側から側板側へしだいに小さくなり、内径は主板側内径 D_{1-M} から側板側内径 D_{1-M} から側板側内径R1 になっている。また人口

で小さくなる。ブレード8の入口部は流入角に合致した入口角となっているので、ブレード入口部での衝突が小さい。また、風速は主板側から側板側へ小さくなるが、圧力上昇は、主板側から側板側で同じとすべきである。つまり、ブレードが行う仕事量も、主板側から側板側へしだいに小さく

に小さくなっている。

プレード断面の仕事量と合致させるために出口角 を変化させているので、どの断面も必要仕事量に 応じた形状となり、プレード各断面の部分効率が 上昇し、羽根車全体の効率が上昇する。なお、本

実施例のプレード出口の圧力を第4図に示してい

すべきである。そとで、プレード8の出口部は各

ぁ.

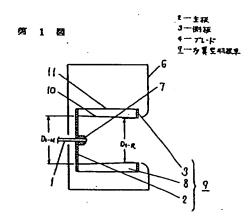
発明の効果

以上のように本発明によれば、多翼型羽根車の 内径および出口角度を吸込側に向うにしたがって 小さくしているため、羽根車からは均一を圧力で 吐出され、よって従来の多異型羽根車の効率を大 きく向上する効果が得られる。

4、図面の簡単を説明

第1図は本発明の一実施例による多異型羽根車の側断面図、第2図は同多異型羽根車のプレードの断面図、第3図は従来の多異型羽根車の側断面図、第4図は従来と本発明品とのプレード出口の 風速と圧力を示す図である。

代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名



第 2 図

